

平成 29 年度 社会福祉法人上士幌福寿協会 事業報告

1. はじめに

第 4 期中期経営計画（2016～2021）は、「地域に根ざし、地域と共に歩む法人」「高品質サービスの継続的提供」「人材から人財への成長」の 3 つを基本目標とし、2 年度目である平成 29 年度は 8 つの重点目標を掲げ取り組んできた。

その中でも「重点目標 2 経営の安定」については介護人材の確保が計画通りとならず、上士幌すずらん荘の新規入居者の受入時期の調整を行うなど、多くの課題が残る結果となった。

一方、社会福祉法人制度改革への対応については、大きな混乱もなく順調に進めることが出来た。本改正の大きなポイントである福祉サービスへの計画的な再投資（「社会福祉充実残額」）については社会福祉充実計画の作成を要しなかった。法人の固定資産の状況を考えるとおそらく今後も充実残額は発生しないと見込まれるが、上士幌町における当法人の役割として、今後も様々な地域貢献事業に取り組む必要があると考える。

生涯活躍のまち上士幌町創生包括プロジェクトについては、上士幌町と民間委託業者が中心となって株式会社の設立を進めてきた。当法人役員及び評議員と上士幌社協役員との合同説明会を経て、「株式会社生涯活躍のまちかみしほろ」設立時には当法人においても出資を決定し株式を取得した。今後は株式会社が行う地域包括ケアシステムの構築に法人がどのように参画をしていくかが課題となってくると思われる。

今年度も施設サービス事業、在宅サービス事業いずれも上士幌町からの助成金が無ければ経営が難しい状況に変わりはなかった。特に通所介護、訪問介護事業については上士幌町内におけるサービスの多様化なども要因として利用者の確保が難しい状況になってきている。しかしながら上士幌町内における通所介護、訪問介護の役割を改めて認識し、地域の安心拠点として「地域に根ざし地域と共に歩む法人」としてしっかりとその役割を担っていかなければならない。

平成 30 年度介護報酬改定については 0.54% のプラス改定となったが 27 年度報酬改定の影響もあり依然経営は厳しい状況である。しかし、少しでも自主運営に近づくことが出来るよう経費の節約はもとより新たな加算の取得に向け体制の整備を行い運営の適正化を図っていきたい

以下、平成 29 年度事業計画に掲げた重点目標について報告する。

2. 平成 29 年度法人重点目標の評価

(1) 地域包括ケアシステムにおけるソフトレベルの構築

法人内連携については、法人内各事業所管理者(主任者以上)会議「福寿を良くする会

議」を平成 28 年度から研修中心型から課題討議中心型に移行し 2 年が経過した。徐々に自由に発言できる雰囲気が生まれ法人内の共通理解や連携が深まってきた。一方、「業績検討会議」については福寿を良くする会議と同一メンバーで実施しているが法人内連携の面では課題があり今後の活性化に向けて取り組む必要がある。

医療・介護連携については居宅介護支援事業所主催カンファレンス会議（ひまわり会議）において嘱託医と定期的な協議の場を持つことが出来た。

ほっこり仲間の会についてはメンバーは増加しているが委員会の参加者が固定化されてきており活動に大きな広がりを持たすことが出来なかった。しかし単独事業となったアイスキャンドル事業についてはイベント終了後に上士幌町が再利用するなど新たな連携も生まれてきているため 30 年度は更に連携を図っていきたい。

上士幌町社会福祉協議会との連携については今年度から年 2 回の懇談会を開催することとなり実施した。今後も連携・相互協力について模索していきたい。

（2）経営の安定

年間を通し職員の適正配置ができず、平成 29 年度の最大の課題となった。

特に介護職員と調理員の補充が出来ず、上士幌すずらん荘の新規入居受入時期の調整や、こまくさ苑の夕食を週 1 回外注弁当にするなど、入居を待つ方や入居中の方々に直接影響を与えてしまうことになった。今後は求人方法の拡大や調理業務の委託なども検討が必要である。

また職員の定着への取組については平成 30 年度の実施に向け様々な取り組みを行ってきた。管理職と職員の面談を通し、介護用ベッドの更新・夜勤手当の引き上げ・各種規程(就業規則、給与規程、育児介護休暇規程等)の充実等を 30 年度に実施する予定である。また平成 29 年 12 月には賞与の上乗せとして一時金の支給も行った。

今後も、職員の働きやすい環境づくりが経営の安定につながることを意識し取組んでいきたい。

（3）日常生活支援総合事業への取組

短時間デイサービスや在宅訪問サービス等の検討を上士幌町と行ってきたが、地域包括支援センターの調査では短時間デイサービス等の利用ニーズは低いとのことで、既存の通所介護事業の中で短時間利用を希望する方は個別に対応するなどし、通所系・訪問系いずれも新規総合事業は行わないこととした。次年度以降も上士幌町と協議を行いながら検討していきたい。

（4）小地域見守り互助仕組みへの協力

法人の持つ強み(24 時間 365 日開設、専門職常駐等)を生かし、関係機関への協力とバックアップ施設としての役割を担うべく福寿を良くする会議等で必要時の協力を確

認してきた。今年度の実績はないが、次年度以降も協力体制を継続していく。

(5) 社会福祉法人制度改革による組織改編

平成 28 年度から諸準備を進めてきたため、大きな混乱なく適正に進めることが出来た。社会福祉充実計画の作成を要しなかったが、今後も様々な地域貢献事業を検討していく。

(6) 新規採用職員の町内在住促進

平成 29 年度末時点で職員住宅 21 戸中空室が 2 戸となっている。30 年度も引き続き法人職員住宅の入居率 100%をめざし対応していきたい。また、民間の賃貸住宅も多く建てられてきているため、単身者以外の町内在住促進についても取り組んでいきたい。

(7) 持続性のある高品質サービスの提供

すべての事業所で主任職及びリーダーが中心となり介護の知識 50 を活用した勉強会を開催してきた。

すずらん荘では介護職員の不足により 12 月から 3 ユニットから 2 ユニットに変更し、ユニット内の配置介護職員を確保するなどケアの工夫も行ってきた。30 年度からは現在の利用者の方々をの身体状況を勘案し介護用ベッドの更新と朝食時間を 30 分繰り下げる予定をしている。

また、福寿を良くする会議を活用し看取りケアの勉強も行ってきた。30 年度からは入居系の事業所で看取り介護加算を取得していく見込みである。

法人内実践発表会については、今年度も運営推進会議委員の方々に来場いただき法人各事業所のケアの取組状況を聴講していただいた。次年度は法人役員の方々にも聴講していただきたいと考えている。次年度以降も地域住民の方々から法人のケアの取組を聞いて頂ける機会を作り、評価していただく事でケアの質の向上を図っていきたい。

(8) 職員育成への取組

職員の定着や人材育成の充実を目的に外部講師によるトータルケアプログラム研修を 28 年度 6 月に 3 ヶ年契約で締結し 2 年目が終了した。受講対象者は各事業所リーダー職以上とし 3 回の研修を行った。エルダー制度や働きやすい職場作りについて学んできたが、職員の定着や育成に関しては結果が出るまでには少なくとも 3 ヶ年以上は必要であることは契約締結時から予測されたことであるため、今後も根気よく研修を継続していきたい。

必要資格の取得状況については、介護支援専門員受験合格者は 1 名。介護福祉士受験合格者も 1 名だった。合格者は介護福祉士受験対策講座を受講したものだ。

平成 29 年度から開始した介護福祉士受験対策講座は受講対象者を実務経験 3 年未満

の者も対象としていることから、次年度以降も継続開催し合格者を増加させたい。

3. 理事会の開催状況

(理事数6名)

回	期日	議決事項等	出席者
1	29.6.2 17:00-19:20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経理規程の一部改正 ・ H28 年度事業報告 ・ H28 年度計算関係書類・財産目録の承認 ・ H28 年度監査報告 ・ H29 年度定時評議員会の日時・場所・議題 	理事 5 名 監事 2 名
2	29.6.21 13:30-14:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長の互選 ・ 常務理事の互選 ・ 6/30 支給に係る賞与の支給割合 	理事 6 名 監事 2 名
3	29.7.24 17:15-17:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり株式会社への出資について ・ H29 法人運営区分第 1 次補正予算(案) ・ H29 第 2 回評議員会の日時・場所・議題 	理事 6 名 監事 2 名
4	29.9.22 16:00-17:40	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 法人運営区分第 2 次補正予算(案) ・ 定款の変更 ・ 経理規程の一部改正 ・ 資金運用規程の制定 ・ 最低賃金の改定に伴う 2 号臨時職員の対応 ・ H29 第 3 回評議員会の日時・場所・議題 	理事 5 名 監事 2 名
5	29.12.1 13:30-15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12/15 支給に係る賞与の支給割合 ・ 賞与一時金(上乘せ)の支給 ・ H29 すずらん荘第 1 次補正予算(案) ・ H29 訪問介護第 1 次補正予算(案) ・ H29 むかし館第 1 次補正予算(案) ・ H29 こまくさ苑第 1 次補正予算(案) ・ H29 まつば第 1 次補正予算(案) ・ H29 第 4 回評議員会の日時・場所・議題 	理事 6 名 監事 2 名
6	30.1.11 16:00-16:15	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 法人運営区分第 3 次補正予算(案) ・ H29 第 5 回評議員会の日時・場所・議題 	理事 6 名 監事 2 名
7	30.3.19 13:30-17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3/30 支給に係る所与の支給割合 ・ H29 法人運営区分第 4 次補正予算(案) ・ H29 すずらん荘第 2 次補正予算(案) ・ H29 短期入所事業第 1 次補正予算(案) ・ H29 通所介護第 1 次補正予算(案) ・ H29 訪問介護第 2 次補正予算(案) ・ H29 むかし館第 2 次補正予算(案) ・ H29 居宅ひまわり第 1 次補正予算(案) ・ H29 こまくさ苑第 2 次補正予算(案) ・ H29 まつば第 2 次補正予算(案) ・ 統括職の新設 ・ 統括職の任命 ・ 統括職の報酬額 ・ 就業規則の一部改正 	理事 5 名 監事 1 名

		<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程の一部改正 ・臨時職員規程の一部改正 ・育児介護休業に関する規則の一部改正 ・2号臨時職員の賃金体系の見直し ・H30 事業計画 ・H30 収支予算(案) ・通所介護事業所運営規程の一部改正 ・訪問介護事業所運営規程の一部改正 ・介護報酬改定に伴う重要事項説明書の一部改正 ・苦情解決体制第三者委員の選任 ・H29 第6回評議員会の日時・場所・議題 	
--	--	---	--

4. 評議員会の開催状況

(評議員数7名)

回	期日	議決事項等	出席者
1	29.6.21 10:00-11:15	<ul style="list-style-type: none"> ・H28 年度計算関係書類・財産目録の承認 ・理事及び監事の報酬額について ・役員報酬基準の承認 ・理事の選任 ・監事の選任 	評議員 7名 監事 2名
2	29.8.3 10:00-10:50	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり株式会社への出資について ・H29 法人運営区分第1次補正予算(案) 	評議員 7名 監事 2名
3	29.10.3 10:00-10:30	<ul style="list-style-type: none"> ・H29 法人運営区分第2次補正予算(案) ・定款の変更 	評議員 7名 監事 2名
4	29.12.13 13:30-13:50	<ul style="list-style-type: none"> ・H29 すずらん荘第1次補正予算(案) ・H29 訪問介護第1次補正予算(案) ・H29 むかし館第1次補正予算(案) ・H29 こまくさ苑第1次補正予算(案) ・H29 まつば第1次補正予算(案) 	評議員 7名 監事 2名
5	30.1.18 13:30-13:50	<ul style="list-style-type: none"> ・H29 法人運営区分第2次補正予算(案) 	評議員 5名 監事 2名
6	30.3.27 13:30-15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・H29 法人運営区分第4次補正予算(案) ・H29 すずらん荘第2次補正予算(案) ・H29 短期入所事業第1次補正予算(案) ・H29 通所介護第1次補正予算(案) ・H29 訪問介護第2次補正予算(案) ・H29 むかし館第2次補正予算(案) ・H29 居宅ひまわり第1次補正予算(案) ・H29 こまくさ苑第2次補正予算(案) ・H29 まつば第2次補正予算(案) ・H30 事業計画 ・H30 収支予算(案) ・理事の選任 	評議員 7名 監事 2名

5. 監査等の実施状況

(1) 内部監査について

回	期日	主な監査項目	実施者
1	29.5.18 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定資産現品監査 ・ 各事業現金・預金・定期預金と残高証明書の特合 ・ 小口現金残高確認 ・ 各事業報告書の内容確認 ・ H28 年度決算監査 	監事 2 名
2	29.8.28 9:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業所現地視察 ・ 資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の整合性確認 ・ 各サービス区分勘定元帳の確認、会計伝票内容確認 ・ 月次残高と預金通帳の特合、各事業小口現金、利用者預り金、各種手当決定書の確認 	監事 2 名
3	29.11.27 9:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の整合性確認 ・ 各事業介護計画書及び介護記録の確認 ・ 寄付金台帳、寄付申込書、領収書の確認 ・ 時間外勤務命令簿の確認 	監事 2 名
4	30.2.27 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ H30 各事業所事業計画(案)の確認 ・ 各事業所会計伝票、支出何書の確認 ・ 資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の内容及び整合性確認 ・ 各事業所小口現金の状況確認 	監事 2 名

(2) 任意監査について

回	期日	主な監査項目
1	29.4.27	<ol style="list-style-type: none"> 1.各サービス区分の総勘定元帳確認 2.各サービス区分の会計伝票内容確認 3.各サービス区分の支出何書内容確認、特合 4.サービス区分間繰入金収入及び支出の相対性確認 5.預金通帳、預金証書との特合 6.資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の内容確認、上記計算書類の整合性確認 (3 月分)
2	29.5.17	<p>H28 年度決算監査</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.固定資産管理台帳の特合 2.減価償却費の特合 3.国庫補助金積立金の特合 4.サービス区分間繰入金収入及び支出の相対性確認 5.サービス区分間貸付金及び借入金の相対性確認 6.未収金及び未払金の取引先残高確認 7.資産及び負債科目の残高確認 8.預金残高証明書との特合 9.資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表付属明細書

		の内容確認 上記計算書類の整合性確認
3	29.6.28	平成 29 年 4 月分、5 月分 1.各サービス区分の総勘定元帳確認 2.各サービス区分の会計伝票内容確認 3.各サービス区分の支出伺書内容確認、突合 4.サービス区分間繰入金収入及び支出の相対性確認 5.預金通帳、預金証書との突合 6.資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の内容確認、 上記計算書類の整合性確認
4	29.8.4	同上 (1~6) 6 月分
5	29.9.7	同上 (1~6) 7 月分
6	29.9.28	同上 (1~6) 8 月分
7	29.10.30	同上 (1~6) 9 月分
8	29.11.28	同上 (1~6) 10 月分
9	29.12.25	同上 (1~6) 11 月分
10	30.1.29	同上 (1~6) 12 月分
11	30.2.26	同上 (1~6) 1 月分
12	30.3.29	同上 (1~6) 2 月分

(3) 社会福祉法人及び社会福祉施設に係る指導監査の結果について

日 時	H29 年度は実施無し
場 所	
監査対象	
監査者	
出席者	
指導監査結果	
法人運営	
施設運営	
今後の対応	
施設運営	

(4) 介護保険施設等の実地指導の結果について

日 時	平成 29 年 10 月 12 日 (※上士幌町と合同実地指導)
場 所	地域密着特別養護老人ホームこまくさ苑
対象事業	地域密着特別養護老人ホームこまくさ苑
監査者	【北海道】保健福祉部福祉局施設運営指導課事業指導グループ 主査(介護) 平山薫、 主事 大谷緋依 【上士幌町】保健福祉課 主幹 弦巻佳光 主査 市川貴邦
出席者	賀陽施設長、千葉地域密着課長、野口庶務課長
実地指導結果	・勤務表において、従事者の常勤・非常勤の別や兼務関係等を明確にしなければならないが、それが明確に記載されていないので、一見してわかるよう様式を改める事
改善状況報告	・平成 29 年 12 月勤務表から様式を変更し明示した。

6. 研修会状況について

(1) 外部研修（十勝社会福祉法人経営者懇談会）

日程	研修内容	出席者
29.6.22	・ 理事長懇親会	欠席
29.7.28	・ 納涼ビール祭り	欠席
30.3.6	・ 人材交流事業報告会	欠席

(2) 法人職員全体研修

回	開催日	内容	参加者
1	29.4.28 18:30-19:00	交通安全について (講師) 帯広警察署上士幌派出所署長	50名
2	29.5.16 18:30-20:00	認知症ケアについて (講師) 帯広大谷短期大学 講師 小林聖恵氏	53名
3	29.6.20 18:30-20:00	高齢者施設のリスクマネジメント (講師) 株ビジネスサポート取締役 粥川文彦氏	51名
4	29.7.21 18:30-20:00	認知症ケア②価値観のずれによる介護の困難さを考える (講師) 帯広大谷短期大学 講師 小林聖恵氏	45名
5	29.8.21 18:30-20:00	高齢者虐待と身体拘束の防止 (講師) 上士幌町地域包括支援センター佐藤真由美氏	47名
6	29.10.3 18:30-20:00	法人内実践発表【各事業所職員からの実践報告】 すずらん荘、在宅福祉課、むかし館、こまくさ苑	47名 +6名
7	29.10.27 18:30-20:00	感染症対策について (講師) 老健かみしほろ感染対策委員長 神山光治氏	43名
8	29.11.21 18:30-20:00	認知症ケア③認知症の理解 (講師) 帯広大谷短期大学 講師 小林聖恵氏	49名
9	30.2.27-28 18:30-21:30	普通救命講習 I (2日間開催) (講師) 上士幌町消防職員	2日間 68名

(3) トータルケアプログラム研修

回	開催日	内容	参加者
1	29.6.27 11:00-17:00	・ 人材確保について。法人の現状把握について ・ エルダーについて。新人職員の特徴について	16名
2	29.9.26 14:30-18:00	・ 職員の定着を図るための取組について ・ 各種会議の進め方のルール ・ 職員のモチベーションを上げるための工夫	14名
3	30.1.19 13:30-18:00	・ 全国の法人の人材不足の現状について ・ 採用できる法人の特徴について ・ リーダーが行うチームマネジメントについて	15名

7. 運営推進会議の開催状況について

(委員数 10名)

回	開催日	内容	参加者
1	29.6.26 10:00-11:45	・ H28 各事業所の事業報告 ・ 各事業所の利用状況、利用者動向、職員動向 ・ まつば利用者の単独外出の搜索の報告 ・ 法人夏まつり協力依頼	4名

2	29.8.6 17:00-19:45	・夏まつり屋台販売品の調理の協力 ・法人夏まつりへの参加	4名
3	29.10.3 18:20-20:00	・法人内実践発表会への参加、聴講、評価	6名
4	29.11.12 13:30-14:30	・実践発表会の審査結果報告 ・年忘れ会の開催について ・各事業所の利用状況、利用者動向、職員動向	4名

8. ほっこり仲間の会活動状況について

回	開催日	内容	事業	会員数
1	4/20	委員会「今年度の活動について」		34名
2	5/18	委員会「法人夏まつりでの屋台販売品打合せ」 「Tシャツ作成（広報活動）について」	●	
3	6/15	委員会「Tシャツの決定」「次月打合せ」		35名
4	7/20	委員会「夏まつり詳細決定」 ビアパーティー開催 22名参加	●	36名
	8/6	夏まつりにて屋台出店 28名参加	●	
5	8/17	委員会「視察先の検討」「夏まつり反省」		
6	9/21	委員会「そば屋開店打合せ」「視察中止報告」		
7	10/19	委員会「そば打ち詳細打合せ」		
8	11/16	そば打ち体験・試食会（ほっこりメンバーのみ） メンバー提案を協議「こでまり大掃除」	●	
9	12/21	こでまり大掃除実施 16名参加 委員会「アイスクャンドル打合せ」 事務局提案を協議「うらめし屋の開催について」	●	
	1/17	うらめしや単独開催 14名参加 一般来客者 31名		
10	1/18	委員会「アイスクャンドル詳細決定」		35名
	1/25 ～ 2/6	アイスクャンドル作成 1/25～2/6の13日間で11日の実稼働 作成従事者延べ178人 2/6点灯式 22名参加 アイスクャンドル 570個 来場者に甘酒、豚汁提供	●	
11	2/15	委員会「アイスクャンドル総括」「先月までの今期収支報告」		
12	3/15	委員会「次年度実施事業について」		

9. 地域交流スペースの活用状況について

小規模多機能型居宅介護まつば事業報告書にて報告する。